

# 3rd CSJ Chemistry Festa

日本化学会秋季事業 第3回 CSJ化学フェスタ 2013

## 参加募集

第3回を迎える今回のCSJ化学フェスタは、ますますアトラクティブな企画、驚きの企画、参加してよかったと思える企画が目白押しです。皆様お誘い合わせのうえ、奮ってご参加下さい。

### テーマ企画

エネルギー・資源、自動車、エレクトロニクス、創業といった技術課題テーマに加え、ビジネス戦略や製品開発、新学術領域や若手アカデミア研究者のアクティビティ紹介、女性研究者の活性化など、多彩な情報満載のテーマ企画に是非ご参加下さい。

- ① シェール革命—化学産業への期待と影響
- ② 国産資源開発
- ③ これからのクルマを支える自動車材料技術—化学産業への期待
- ④ 有機薄膜太陽電池の新展開と将来への戦略
- ⑤ OLED照明の開発最前線—本格普及への課題と技術開発
- ⑥ 化学で創るエレクトロニクス
- ⑦ スマートフォンの技術
- ⑧ 創業化学—こうやってクスリは創られる—
- ⑨ 世界に打ち勝つ化学産業のビジネス戦略
- ⑩ 感性研究から新たな価値へ—ここを掴む製品開発のヒントがここに!
- ⑪ ナノ機能への挑戦—材料、素子、バイオ、そして未来—
- ⑫ 技術革新の種を撒く：新学術領域が目指す未来の化学
- ⑬ 女子学生キャリアアップ支援「飛躍する女性研究者をめざして」

### 産学官 R&D 紹介企画

今回は企業に加えて学官からも研究開発アクティビティが紹介されます。産学官の活発な交流に是非、ご参加下さい。

- R&D セッション (講演)
- R&D 展示ブース

### 学生ポスター発表

産学官の研究者と交流したい学生の皆様の参加をお待ちしております。今回も優秀な発表に対してポスター賞が授与されます。

### 参加登録のご案内

CSJ化学フェスタで実施する企画へ参加される方には**有料・無料に関わらず参加登録**をお願いしています。ウェブサイトよりお申込み下さい。

<http://www.csj.jp/festa/>

※現地での混雑を避けるためできる限り事前登録をお願いします。

事前登録期間 | 8月1日(木)～9月12日(木)

プログラム公開 | 9月1日(日)

フェスタ企画参加費 ※1

| 会員区分 | 正会員※2   | 非会員     | 学生会員   | 非会員学生  |
|------|---------|---------|--------|--------|
| 予約   | 14,000円 | 24,000円 | 2,000円 | 3,000円 |
| 当日   | 16,000円 | 26,000円 | 3,000円 | 4,000円 |

※1 プログラム・予稿集に参加費に含まれます。 ※2 個人正会員・教育会員・シニア会員・法人正会員企業に所属する方が対象です。

有料  
フェスタ  
企画

### 公開企画

無料

### 2013ノーベル化学賞解説講演会

10月に発表される本年度のノーベル化学賞の内容を、いち早く、わかりやすく解説する講演会を予定しています。

### 公開講座

- ① 化学と酒
- ② 化学と鉄道

### コラボレーション企画

産学官の交流深耕、学協会間の連携促進の一環として、(一社)日本化学工業協会(日化協)、(独)科学技術振興機構(JST)、(独)理化学研究所(理研)、(独)産業技術総合研究所(産総研)、(公社)新化学技術推進協会(JACI)、(独)日本原子力研究開発機構(原子力機構)が企画する特別企画を開催します。

- ① 日化協特別企画「化学人材育成プログラム-2013研究発表会&博士活躍事例紹介」
- ② JST特別企画「持続可能なものづくりのための先導的物質変換技術」
- ③ 理研特別企画「化学と生物学の融合によるグリーン未来の実現～資源の循環的な創出と利活用技術の開発～」
- ④ 産総研特別企画「触媒化学で拓く化学産業の未来—日本を元気にする産業技術会議シンポジウム—」
- ⑤ 新化学技術推進協会(JACI)奨励研究講演会～将来の化学産業を切り拓く先進技術～
- ⑥ 原子力機構特別企画「量子ビーム利用の最前線～産業応用に向けた革新的成果の創出・普及を目指して～」

各企画の概要は裏面をご参照下さい

2013.10/21(mon.)—23(wed.) 会場 | タワーホール船堀 (東京都江戸川区)

主催 | 日本化学会

後援 | 文部科学省・経済産業省・国立科学博物館・独立行政法人科学技術振興機構・一般社団法人日本化学工業協会・公益社団法人新化学技術推進協会  
独立行政法人産業技術総合研究所・独立行政法人理化学研究所・独立行政法人日本原子力研究開発機構・独立行政法人物質・材料研究機構



テーマ企画

- ① シェール革命—化学産業への期待と影響  
シェール革命に関わる化学技術の貢献例と期待される技術を紹介するとともに、化学産業に対するシェール革命の影響について議論します。 | 10/23
- ② 国産資源開発  
メタンハイドレートやレアアースなど、日本の国産資源開発の現状と将来性について議論します。 | 10/21
- ③ これからのクルマを支える自動車材料技術—化学産業への期待  
公益社団法人自動車技術会の協力のもと、クルマの進化を支える様々な材料技術について化学産業への期待も含めて紹介します。 | 10/21
- ④ 有機薄膜太陽電池の新展開と将来への戦略  
この分野を先導する研究者が今取り組んでいる先進技術を紹介し、将来戦略について自由討論会を行います。 | 10/21
- ⑤ OLED照明の開発最前線—本格普及への課題と技術開発  
次世代照明といわれる有機EL (OLED) 照明の本格普及へ向けた課題の明確化と、課題解決のための技術開発について議論します。 | 10/22
- ⑥ 化学で創るエレクトロニクス  
次世代のエレクトロニクス材料やプロセス開発に必要な化学の課題や役割、産学官連携のあるべき姿について議論します。 | 10/23
- ⑦ スマートフォンの技術  
多くの化学技術が活用されるスマートフォンおよび情報端末について、技術的な視点からその現況、将来について議論します。 | 10/21
- ⑧ 創薬化学—こうやってクスリは創られる—  
医薬品開発の実例をもとに、新たな展開をどのように見出し、どのような戦略で研究を進めてきたかを紹介し、最新の創薬事情について議論します。 | 10/23
- ⑨ 世界に打ち勝つ化学産業のビジネス戦略  
日本のモノづくりに貢献した化学産業の成功例・研究開発型ベンチャー企業の育成例を紹介し、世界で勝ち抜くためのビジネスモデル改革について議論します。 | 10/22

2013ノーベル化学賞解説講演会

10月に発表される本年度のノーベル化学賞の内容を、いち早く、わかりやすく解説する講演会を予定しています。 | 10/21

公開講座

- ① 化学と酒  
ビール、ワイン、日本酒、焼酎、ウイスキー等について、それぞれのエキスパートから化学との関わりについて解りやすくお話し頂きます。 | 10/21
- ② 化学と鉄道  
化学が支える日本の鉄道技術を趣旨として、安全で快適、便利な鉄道輸送に欠かせない化学材料、また化成品の鉄道輸送等についての講演会を開催します。 | 日程未定

- ⑩ 感性研究から新たな価値へ—  
～ここを掴む製品開発のヒントがここに！  
触覚、嗅覚といった刺激受容や脳科学による最先端の研究成果を紹介して、「感性」を科学的に捉えて価値を創り出すヒントを提供し、「感性」を活かした製品開発について考えます。 | 10/21
- ⑪ ナノ機能への挑戦—  
—材料、素子、バイオ、そして未来—  
若手研究者の視点から新しい材料化学や新規ナノ材料開発の研究について講演します。また、指導的研究者による未来展望講演、およびパネルディスカッションを行います。 | 10/21・22
- ⑫ 技術革新の種を撒く：新学術領域が目指す未来の化学  
文部科学省科研費の新学術領域研究（領域提案型）における化学系の領域代表研究者19名が一堂に会して、新しい「科学」や「技術との連携」を発信し、社会と共生する化学の新展開を紹介します。 | 10/23
- ⑬ 女子学生キャリアアップ支援  
「飛躍する女性研究者をめざして」  
女性研究者との交流を通じ、研究者を目指す女子学生を励ますとともに、女性研究者たちがより活躍する将来像を具体的にイメージできるようにアドバイスします。 | 10/22

産学官R&D紹介企画

- R&Dセッション（講演）  
企業および研究機関の研究者・マネージャーが、研究戦略・全体像、技術・製品、人材育成、グローバル展開など、それぞれ多彩な内容を紹介しします。 | 10/22・23
- R&D展示ブース  
企業や研究機関が、研究開発状況や特徴技術、製品などを個性豊かに紹介しします。 | 10/21・22・23

学生ポスター発表

審査を希望するポスターに対して、産業界とアカデミアの審査員が審査し、優秀な発表に対してポスター賞が授与されます。 | 10/21・22・23

コラボレーション企画

- ① 日化協特別企画  
化学人材育成プログラム-2013研究発表会 & 博士活躍事例紹介  
支援対象専攻の学生の研究内容について、多くの方々から様々な視点から議論いただきます。また、研究開発や生産現場で活躍する博士の活躍事例の紹介を行います。 | 10/21
- ② JST 特別企画  
持続可能なものづくりのための先導的物質変換技術  
2010年ノーベル化学賞受賞者でありACT-C研究総括補佐である根岸英一（パデュー大学特別教授）による特別講演のほか、ACT-C研究者による研究課題の現状とその重要性についての講演を行います。 | 10/22

③ 理研特別企画

化学と生物学の融合によるグリーン未来の実現～資源の循環的な創出と利活用技術の開発～  
炭素、窒素、金属元素、研究基盤というキーワードをもとに、環境資源科学研究センター（RIKEN CSRS）が推進している4つの研究プロジェクトについて紹介します。 | 10/22

④ 産総研特別企画

触媒化学で拓く化学産業の未来—  
—日本を元気にする産業技術会議シンポジウム—  
機能性化学部材の分野で今後も日本が優位性を保ち、産業競争力を高めていくための触媒研究はどうあるべきかを議論します。 | 10/22

⑤ 新化学技術推進協会(JACI)奨励研究講演会

～将来の化学産業を切り拓く先進技術～  
当協会が奨励し研究助成を行っているアカデミア若手研究者の研究テーマから、優れた成果を上げている研究者の講演を行います。 | 10/22

⑥ 原子力機構特別企画

量子ビーム利用の最前線  
～産業応用に向けた革新的成果の創出・普及を目指して～  
量子ビーム応用研究のうち、新機能材料、ビーム解析技術に関する研究開発の最新の成果や技術移転の実例を紹介しします。 | 10/23

日本化学会秋季事業  
第3回 CSJ化学フェスタ 2013

会期 2013年10月21日(月)～23日(水)  
会場 タワーホール船堀(東京都江戸川区船堀4-1-1)

- 参加予約期間 8月1日(木)～9月12日(木)
- プログラム公開 9月1日(日) (予定)
- 予稿集発行日 10月1日(火) (予定)

お問い合わせ先  
公益社団法人日本化学会 企画部 河瀬・美園  
tel : 03-3292-6163  
E-mail : festa@chemistry.or.jp